

# **グリーンピア三陸みやこ仮設住宅に おけるヒアリング調査結果**

**平成23年9月**

**岩手大学工学部 社会環境工学科 都市計画学研究室**

## (結果の概要)

### I. 調査概要

当研究室(岩手大学工学部社会環境工学科：都市計画学研究室)は、7月20,21日(水,木)の2日間にわたり仮設住宅入居者を対象としたヒアリング調査を行った。調査件数は40件で、内容としては主に買い物や通院などの活動の現況や交通手段について調査した。調査対象者の平均年齢は68.7歳で、性別構成は男性15名(37%)、女性25名(63%)であった。

### II. 調査結果

#### 1. 自動車の保有状況

個人での所有が42%、家族での所有が38%、合わせて80%の所有率があり多くの人が自家用車を使用できる環境にある。内閣府が平成22年に実施した調査によると自分で自動車を運転する割合は全国で50.7%、町村で62.2%であり、これを下回る結果であった。

#### 2. 買い物の活動状況

62.5%の方が宮古市街地に買い物へ行っており、それ以外では協同購入やたろちゃんテントを利用(17.5%)していた。交通手段では自分で運転する(40%)とバス(30%)が多かった。頻度で多いのは週1,2回(77.5%)で、午前中に済ませる方が多い(42.5%)。買い物に不便を感じる人は少なかった。購入するものは主に食料品であった。

#### 3. 通院の活動状況

47.5%の方がグリーンピア内の診療所へ通院されていた。次いで多いのが宮古市街地の病院(27.5%)であった。通院していない・無回答が22.5%であった。宮古市街地へ通院する場合は午前中に自分で運転される場合が多く、通院頻度は月1回という方(45.7%)が多い。

#### 4. 衣食住の満足度

7点満点中、衣・食の満足度の平均点が5点以上であったが、住の満足度の平均点は4.11となり他の項目と比べて低い結果となった。住まいに関して、仮設住宅の設備の不満や冬場が心配という意見が多く挙げられた。

#### 5. 勉強会や集会への参加の意思、条件

70%の方が参加への意思や興味を持っており、開催場所の近さや時間に拘束されないなど参加のしやすさが条件として挙げられた。

### III. まとめ

- 家族も合わせた自動車の保有率は8割あるが、自分で運転する場合は全国に比べ低い。
- 買い物や食に対しては不便を感じている方は少ない。
- 宮古方面への交通手段として、バスが役割を果たしている。
- 仮設住宅への不満が多い。
- 集会などに関心を持っている人は多い。

# 目次

<b>I. はじめに</b>	.....	p 3
1.本調査の概要	.....	p 3
2.基礎集計結果	.....	p 3
<b>II. 調査結果</b>	.....	p 4
1.自動車の保有状況と歩行可能距離	.....	p 4
2.買い物の活動状況	.....	p 5
3.通院の活動状況	.....	p 8
4.衣食住の満足度	.....	p 11
5.勉強会や集会の参加意思と条件	.....	p 13
<b>III. 自由記述集</b>	.....	p 14
<b>IV. ヒアリング調査用紙</b>	.....	p 15

# 1. はじめに

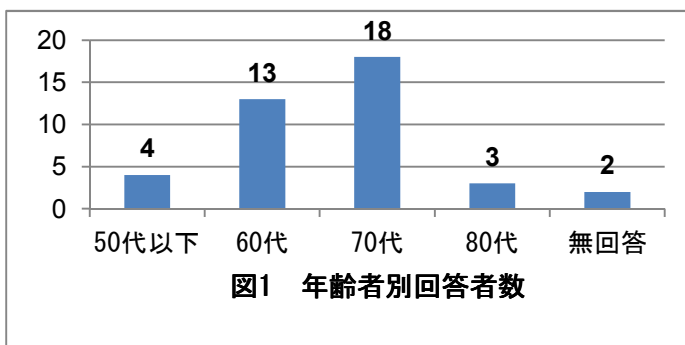
## 1.本調査の概要

- 実施日 . . . 7月20日(水)、21日(木)の12時～15時
- 方法 . . . 当研究室の学生10名がグリーンピア三陸みやこ敷地内の仮設住宅を直接訪問し、1件あたり20分程度のヒアリング調査を行った。
- 設問内容 . . .
  - 1)自動車の保有状況、歩行可能な距離
  - 2)買い物、通院などの活動状況（移動手段や行き先、頻度など）
  - 3)衣食住の満足度
  - 4)勉強会や集会がある場合の参加の意思や条件
  - 5)個人属性
- 目的 . . . 仮設住宅に住まわれている方の買い物や通院等の活動状況や衣食住の満足度を把握し、今後の生活環境改善や復興まちづくりに関する研究へ活かすこと。

※生活の中で感じるサポートのニーズも設問内容に設けたが、回答数が少なかったため本書では省略する。

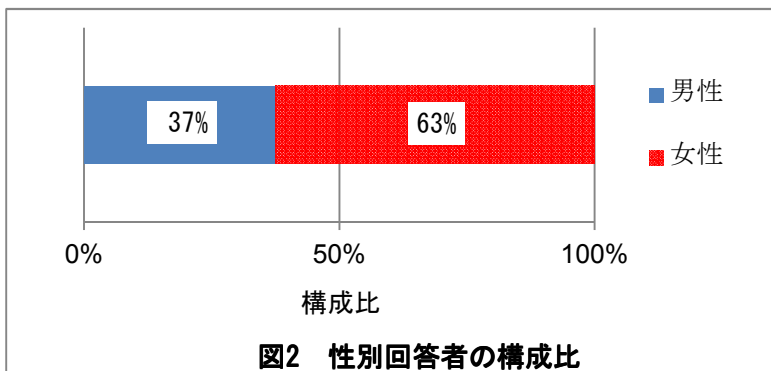
## 2.基本集計結果

- 調査件数 . . . 40件
- 年齢別回答者数



- 50代以下 . . . 4件（10%）
- 60代 . . . 13件（32.5%）
- 70代 . . . 18件（45%）
- 80代 . . . 3件（7.5%）

- 性別回答者数



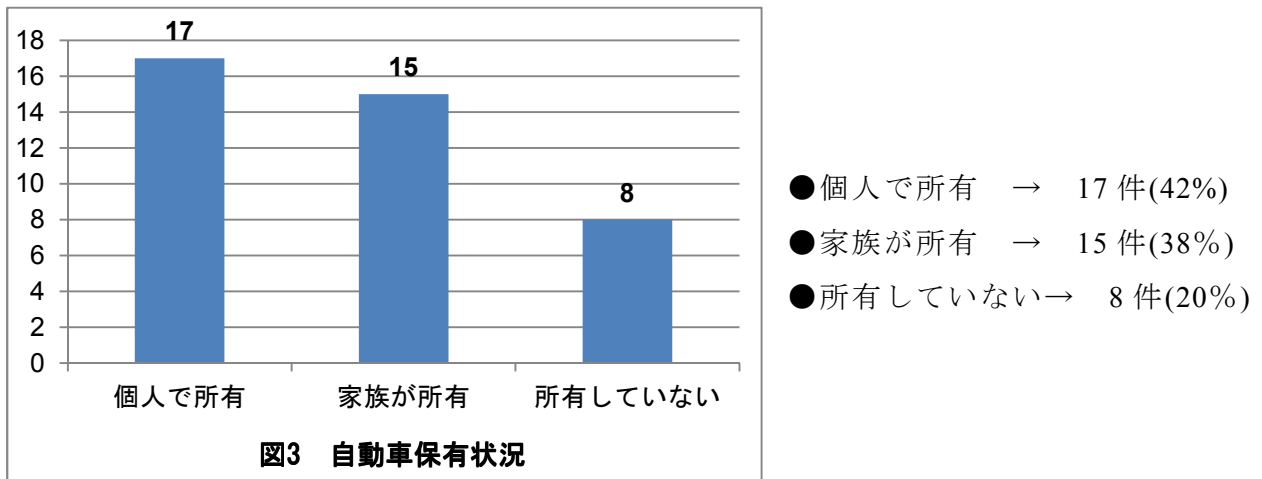
- 男性 . . . 15件（37%）
- 女性 . . . 25件（63%）

## II. 調査結果

### 1.自動車保有状況と歩行可能距離

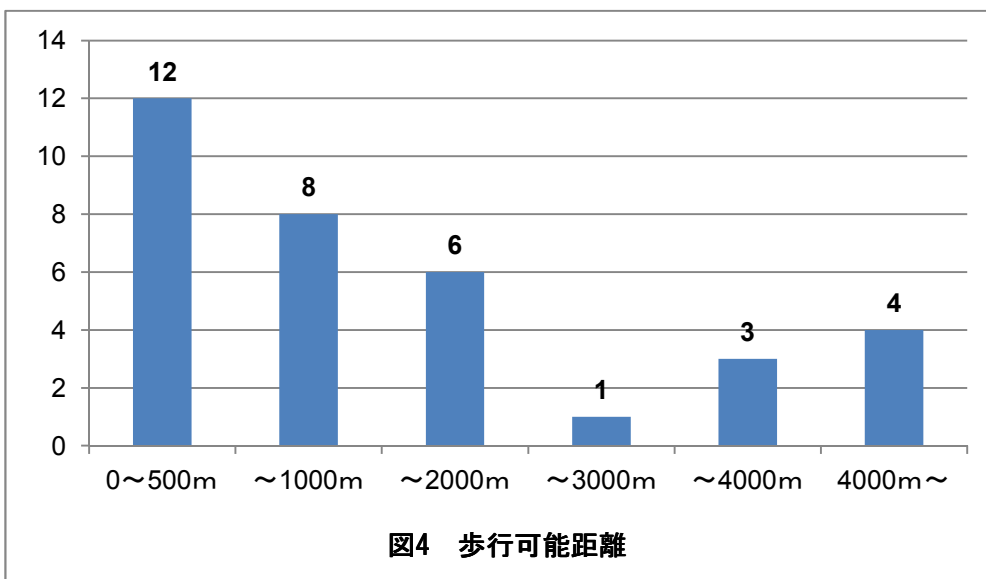
#### 1-1. 自動車の保有状況

全体の80%が、個人・家族問わず自家用車を使用できる状況にあることがわかった(図3)。内閣府が平成22年に実施した「高齢者の住宅と生活環境に関する意識調査」によると、外出手段のうち自分で自動車を運転する割合は全国で50.7%、町村で62.2%であった。本調査では42%となり、これを下回る結果となった。



#### 1-2. 歩行可能距離

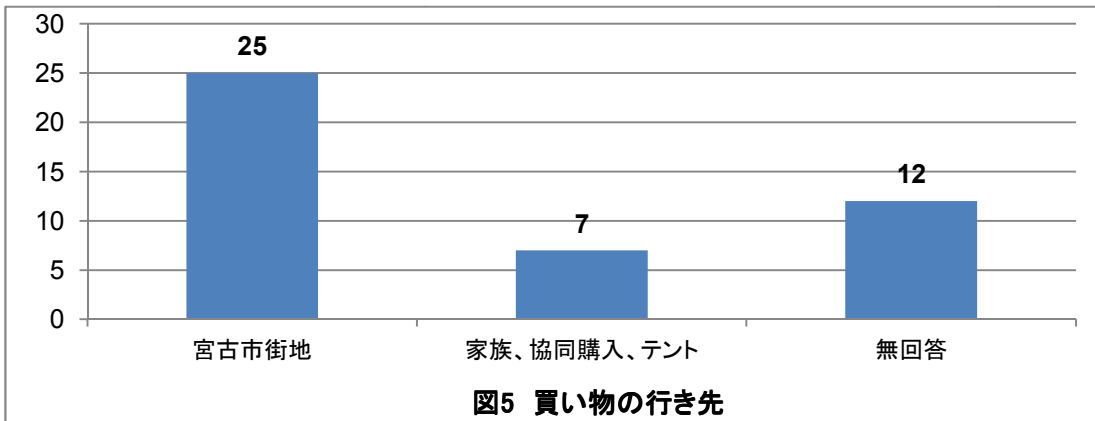
今回の調査対象者は高齢者の割合が高く、グリーンピアの敷地内であれば歩けるという意見も多くあった。58.8%の方が1000m以内と回答し、最長では15kmでも歩けるという回答もあった(図4)。内閣府が平成21年に実施した「歩いて暮らせるまちづくり世論調査」によると、1000m以内と回答した割合は全体では58.9%、60代と70代では55.9%であり、ほぼ同様な結果となった。



## 2. 買い物の活動状況

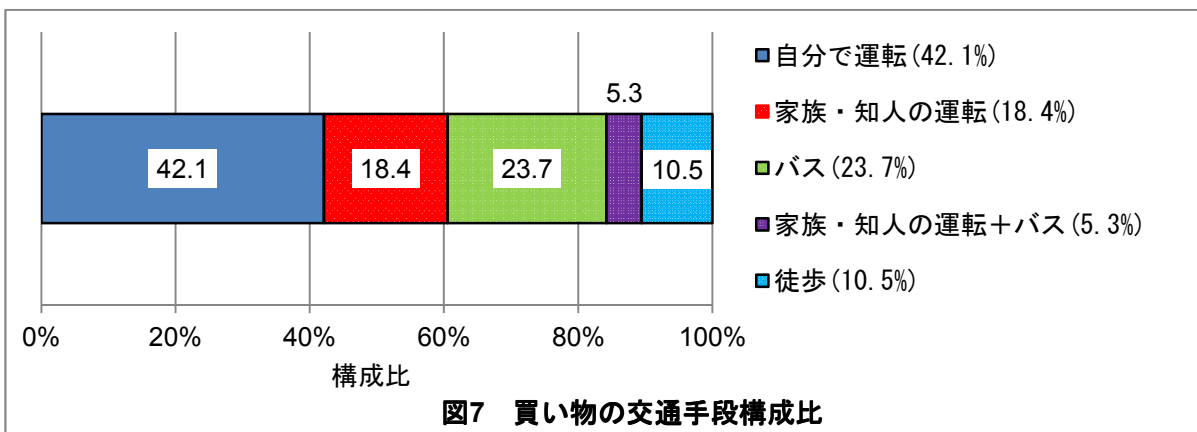
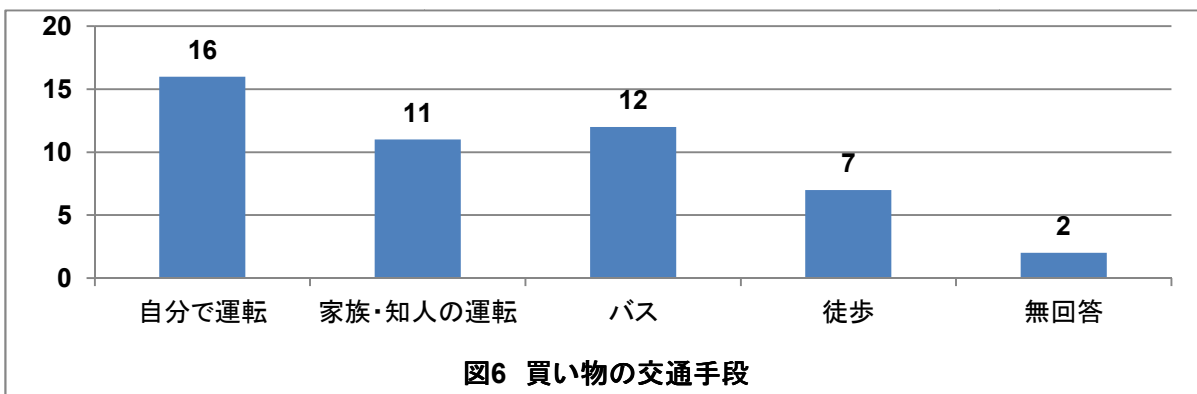
### 2-1. 行き先と交通手段

買い物の行き先(図5：複数回答有り)は、62.5%の方が宮古市街地と回答した。宮古市街地に買い物へ出かけない方でも他の市町村に住む家族が買ってくる場合や、生協の協同購入、たるちゃんテントを利用するという回答が合わせて17.5%あり、買い物には困っていないという方が多い。

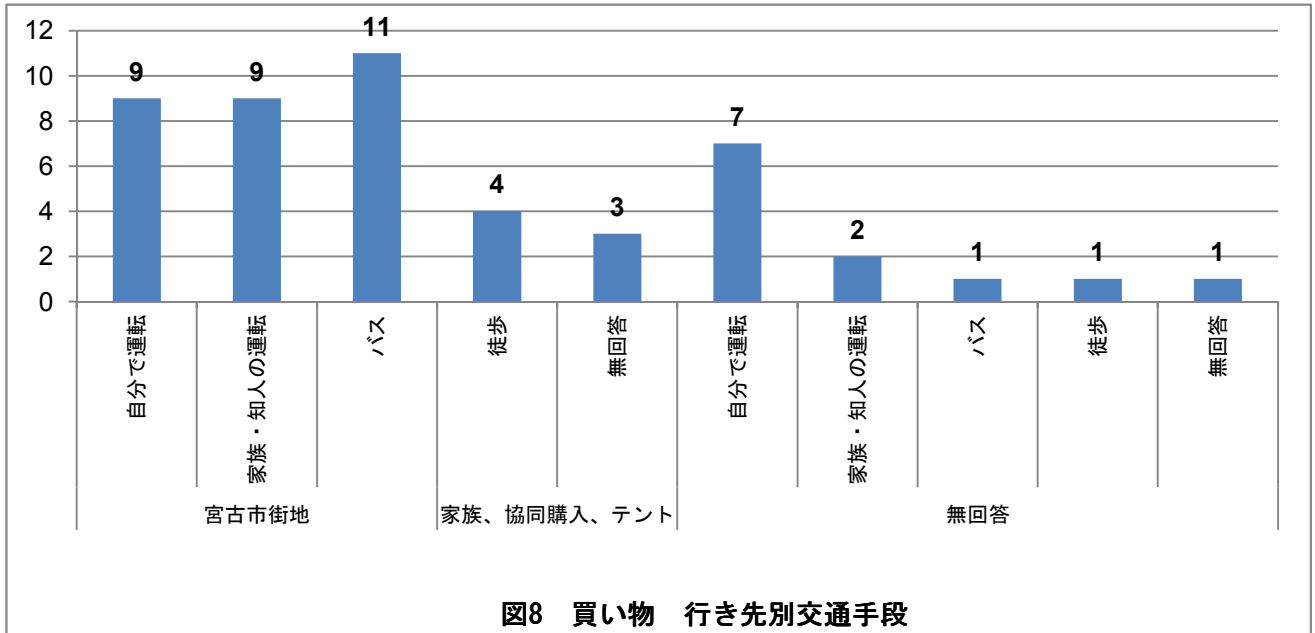


買い物の交通手段(図6：複数回答有り)では、自分で運転する方(40%)が1番多いことがわかる。バス利用は30%であった。

個人の利用することがある交通手段の組み合わせ(図7)に注目すると、42.1%の方が自分で自動車を運転して買い物に出かけており、23.7%の方はバスを利用しているということがわかった。

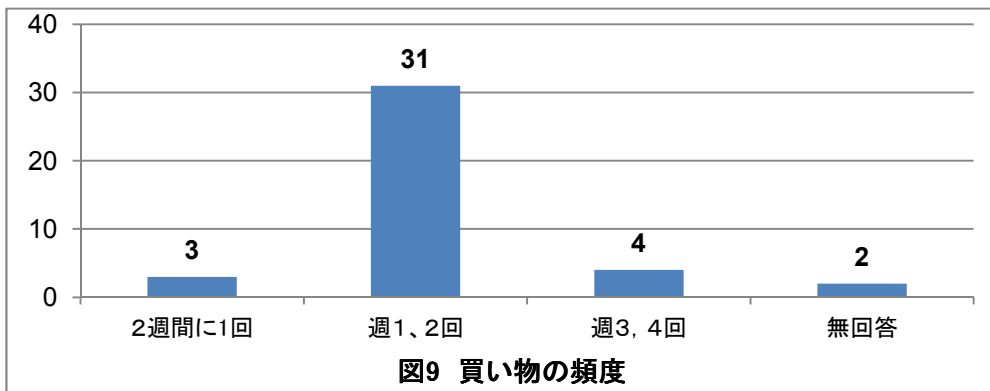


行き先別交通手段（図 8）を見ると、宮古市街地への移動には、バスが大きな役割を果たしていると考えられる。また現状で、主に購入をしているのは食料品で、今後希望として生ものを買いたいという意見が目立った。

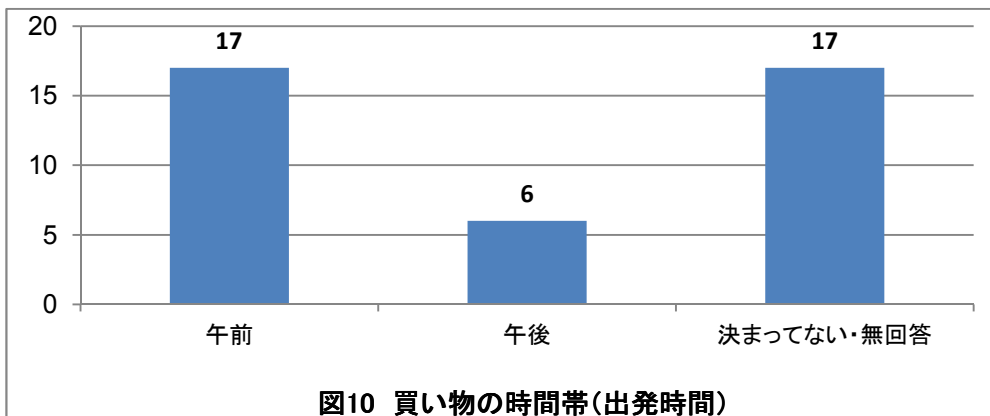


## 2-2. 頻度と時間帯

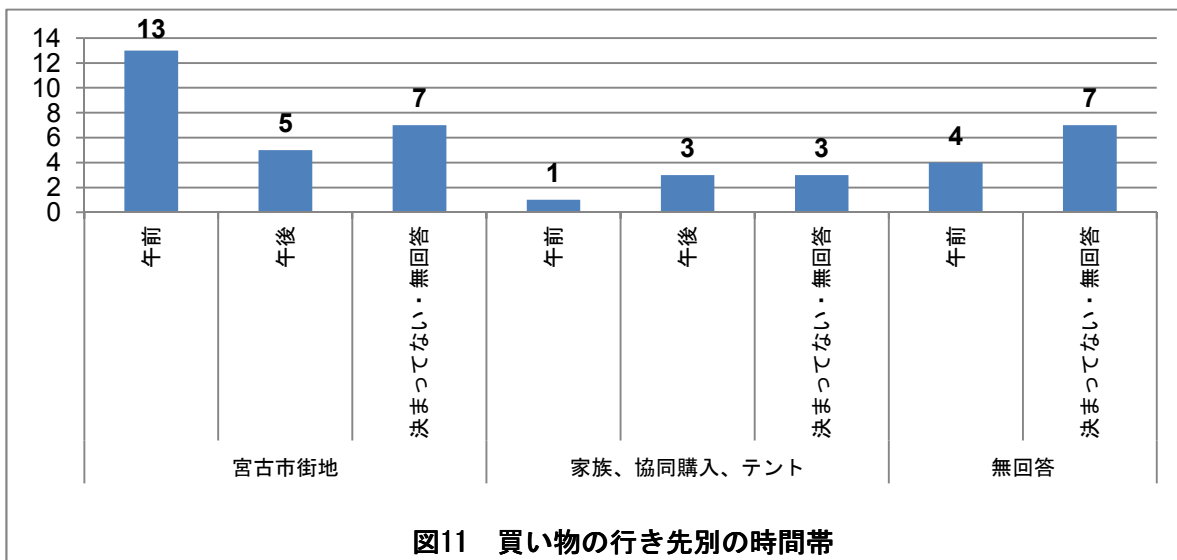
買い物の頻度では、週に 1~2 回と回答した方が全体の 77.5%いた。(図 9)



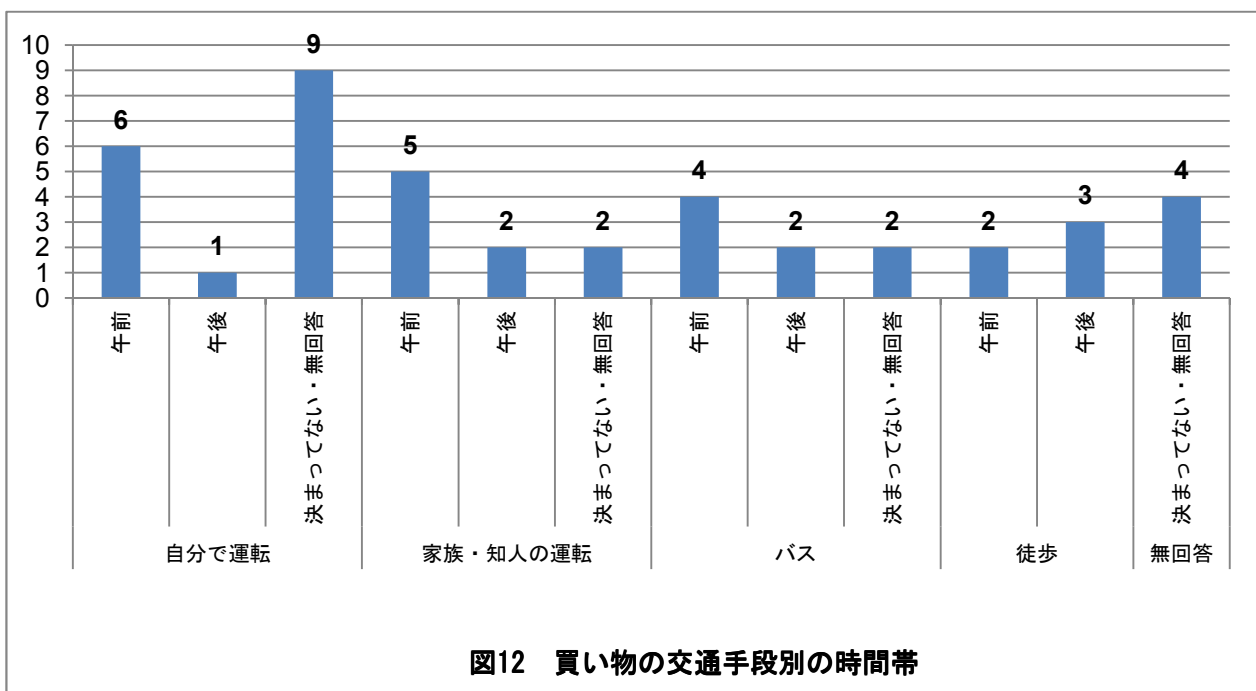
時間帯では、42.5%の方が午前中に買い物に出かけていることが分かった。(図 10)



行き先別の時間帯(複数回答有り)を見てみると宮古市街地へ行く場合は30名中13名と5割近くの方が午前中に出かけていることが分かる。(図11)



交通手段別の時間帯(複数回答有り)では、どの交通手段でも午前中に出かける割合が大きいことが分かった。交通手段が徒歩の回答者は、たろちゃんテントの利用者であり、午後の利用が多い結果となった。



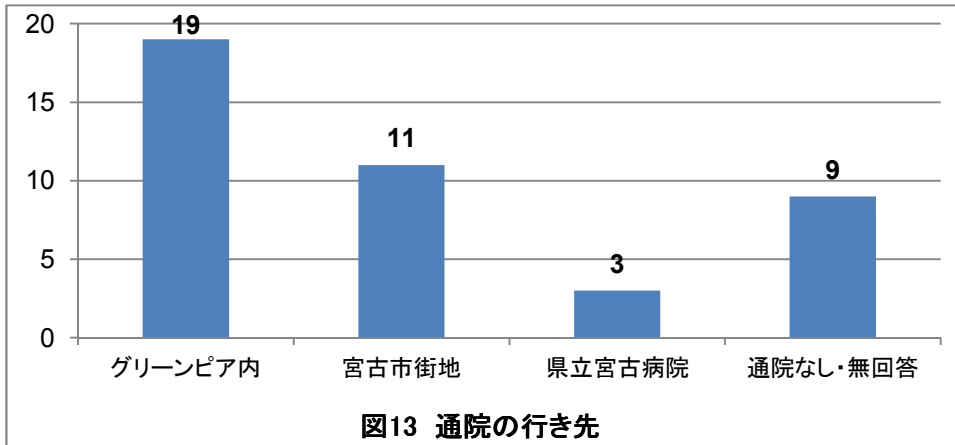
なお、頻度では行き先や交通手段とは関係なく、まんべんなく週1, 2回という回答が多く見られた。



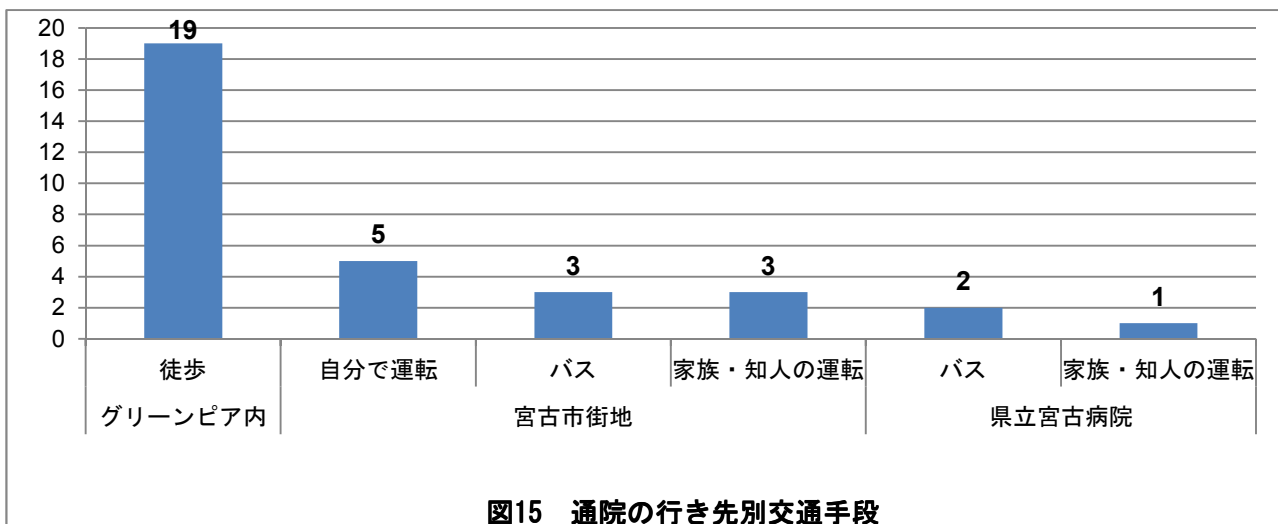
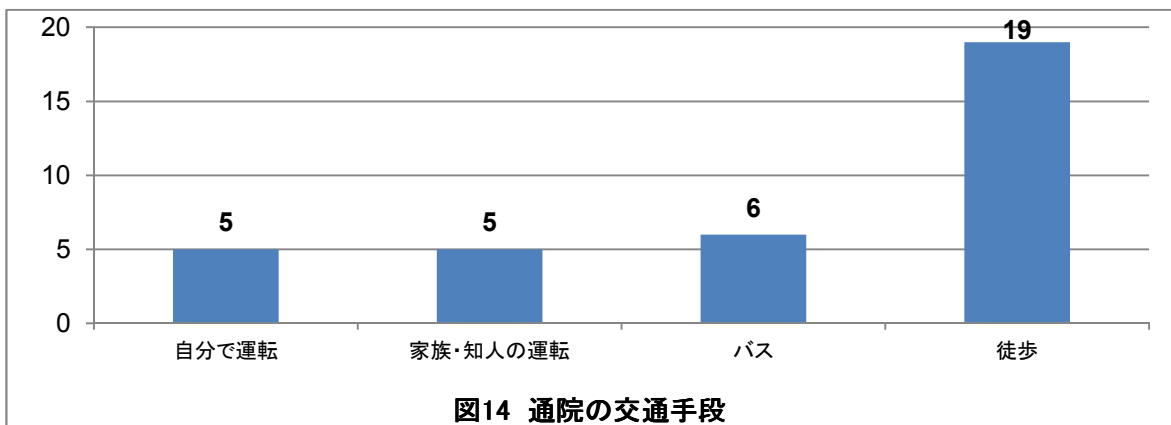
### 3.通院の活動状況

#### 3-1. 行き先と交通手段

通院の行き先(複数回答有り)は、47.5%の方がグリーンピア内の診療所、それに次いで宮古市街地、県立宮古病院という結果となった。(図13)

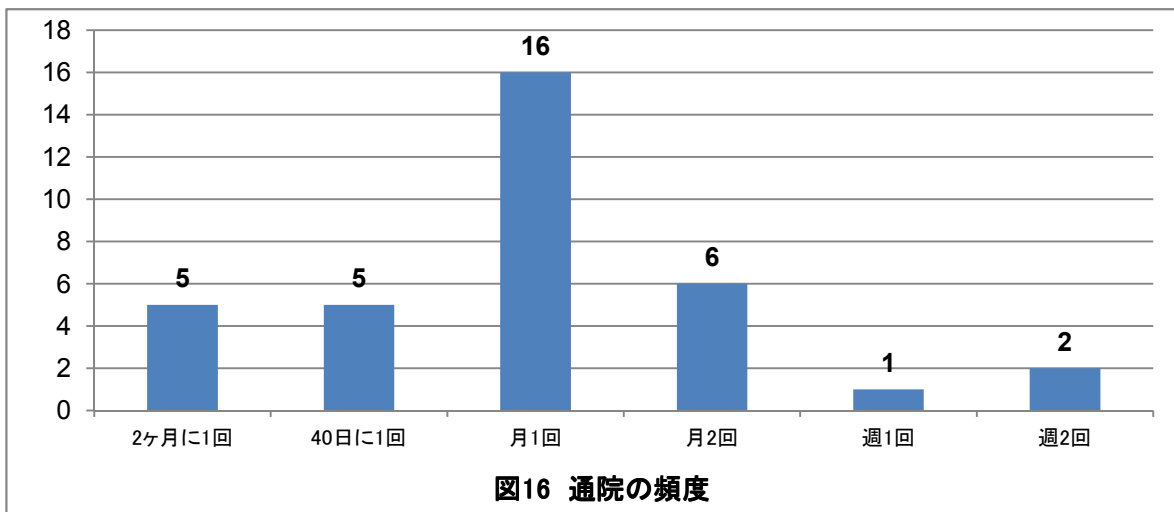


交通手段(複数回答有り)では徒歩(47.5%)とバスの利用者(15%)の回答者が多い(図14)。行き先別の交通手段は図15のようになっており、ほとんどの人が徒歩で通うことのできるグリーンピア内の診療所に通っていることがわかる。

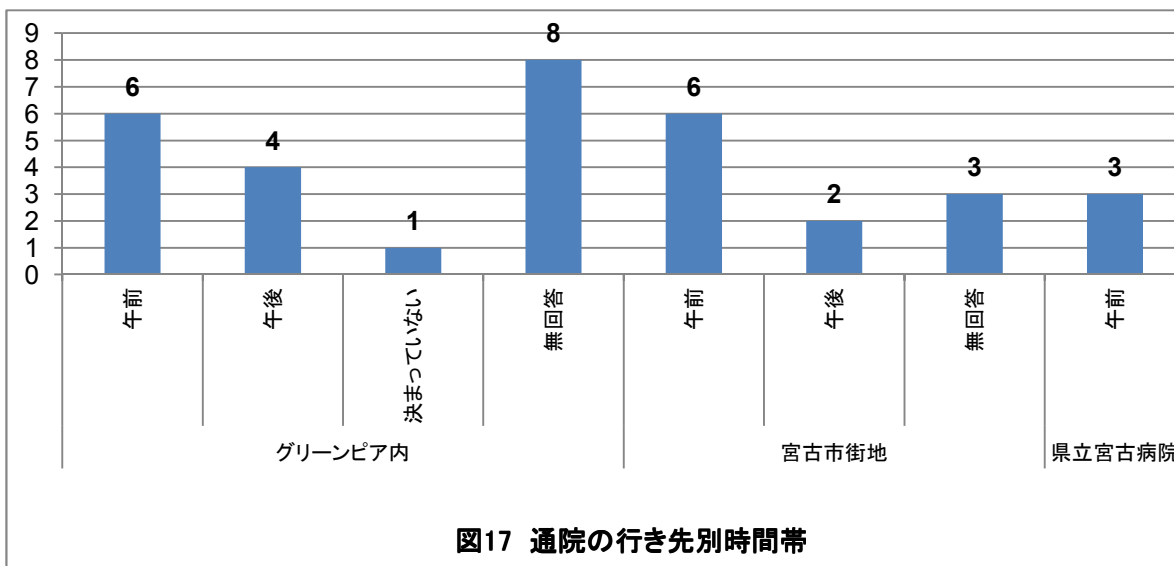


### 3-2. 頻度と時間帯

通院の頻度では、月に1回という回答が45.7%で多く見られた。(図16)



時間帯では、宮古市街地方面へ通院している方は、グリーンピア内診療所へ通院している方に比べ、午前中に通院している割合が高いということがわかった。(図17)



交通手段別の通院時間帯を見ると、バスの利用者は午前中に集中していることがわかった。(図 18)

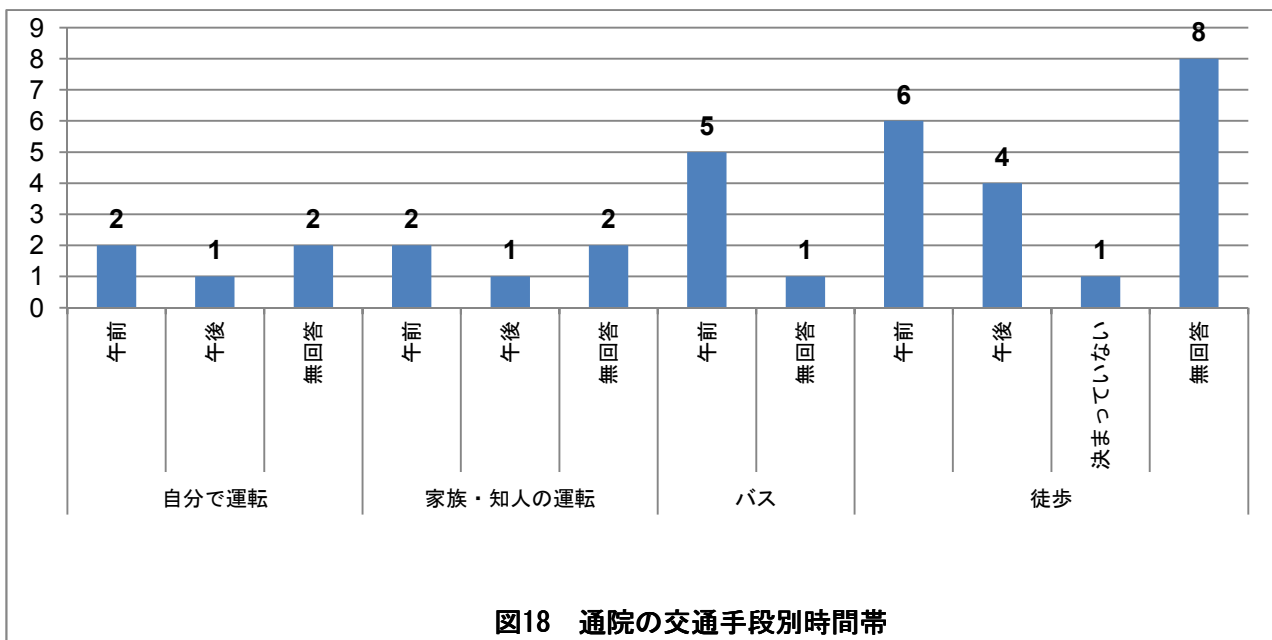


図18 通院の交通手段別時間帯

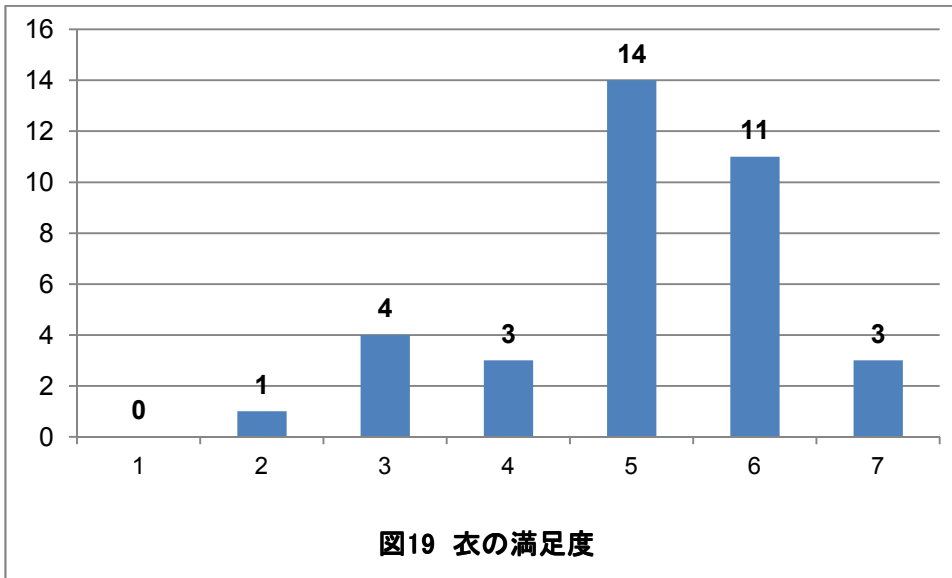
## 4.衣食住の満足度

(1: とても不満 2: 少し不満 3: 不満 4: どちらでもない 5: 少し満足 6: 満足 7: とても満足)

上記の7段階を用意しそれぞれの項目で満足度を回答して頂いた。

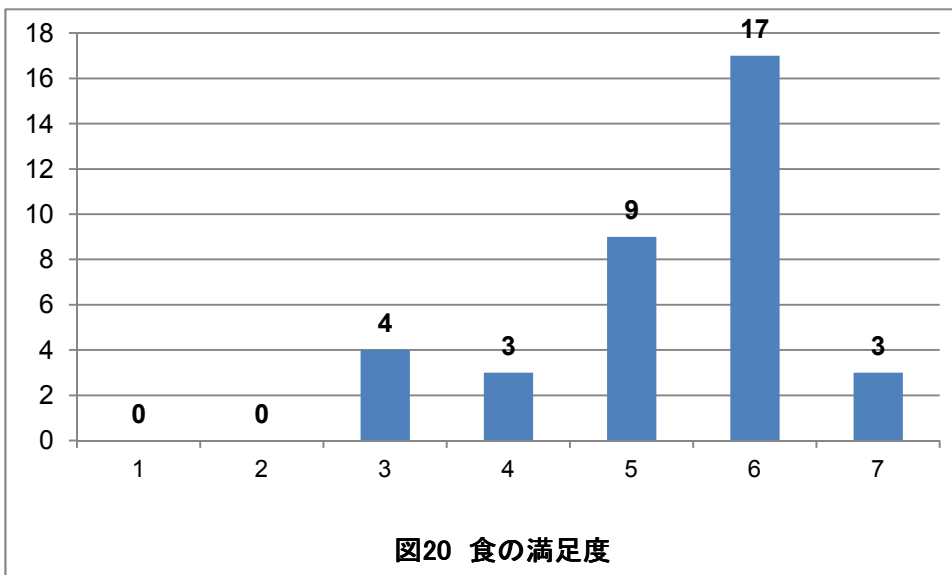
### 4-1. 衣の満足度

衣の満足度は図19のようになり、5:少し満足と6:満足の回答者が多く(5,6回答者69.4%)、ある程度満足している方が多いという結果が出た。平均値は5.08であった。



### 4-2. 食の満足度

食の満足度は図20のようになり、6:満足の回答数が多く(47.2%)、食に対して満足している方の割合が多いことがわかった。平均値は5.33であった。

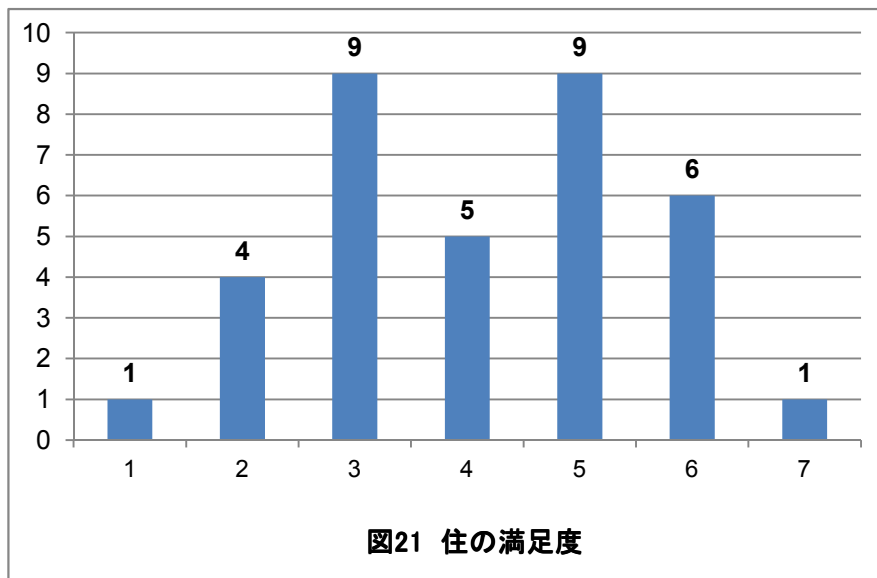


### 4-3. 住の満足度

住の満足度は図 21 のようになり、前の 2 項目と比べると満足度にバラつきが出た。

3:少し不満の回答数が多く(29%)、下記に示すような意見が挙げられた。高い満足度に回答した方の中では、仮設住宅に住めるだけでもありがたいという意見もあった。

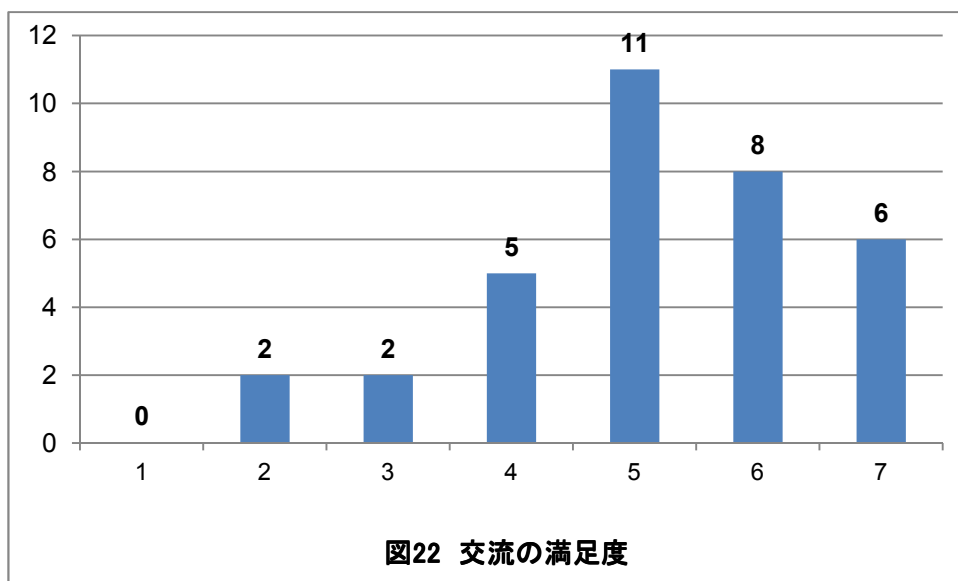
平均値は 4.11 であった。



- 挙げられた意見
- ・屋根が短い
  - ・結露がひどい
  - ・暑い
  - ・砂利道を舗装して欲しい
  - ・冬場の寒さ,除雪が不安
  - ・畳が欲しい

### 4-4. 交流の満足度

交流の満足度は図 22 のようになり、回答が 5:少し満足~7:とても満身に集中していることが分かる(5,6,7 回答者 73.5%)。人との交流は仮設住宅の入居者同士という回答が 12 件、他の市町村に住む家族に来てもらうという回答が 4 件、自家用車で出かけるという回答が 5 件という結果であった(他無回答)。今回の調査の結果、グリーンピア敷地内での交流が多くあり、満足度も高いことがわかった。平均値は 5.15 であった。

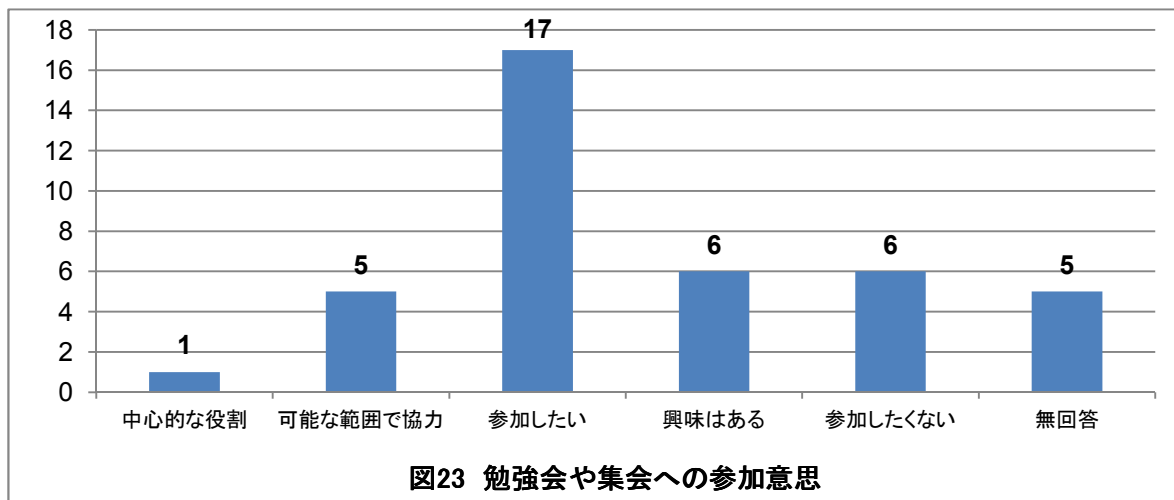


## 5.勉強会や集会のある場合の参加の意思や条件

今後、復興まちづくりに向けた勉強会や集会がある場合に、参加の意思がどの程度あるのか、また参加するためにはどのような条件が必要なのかをヒアリング調査した。

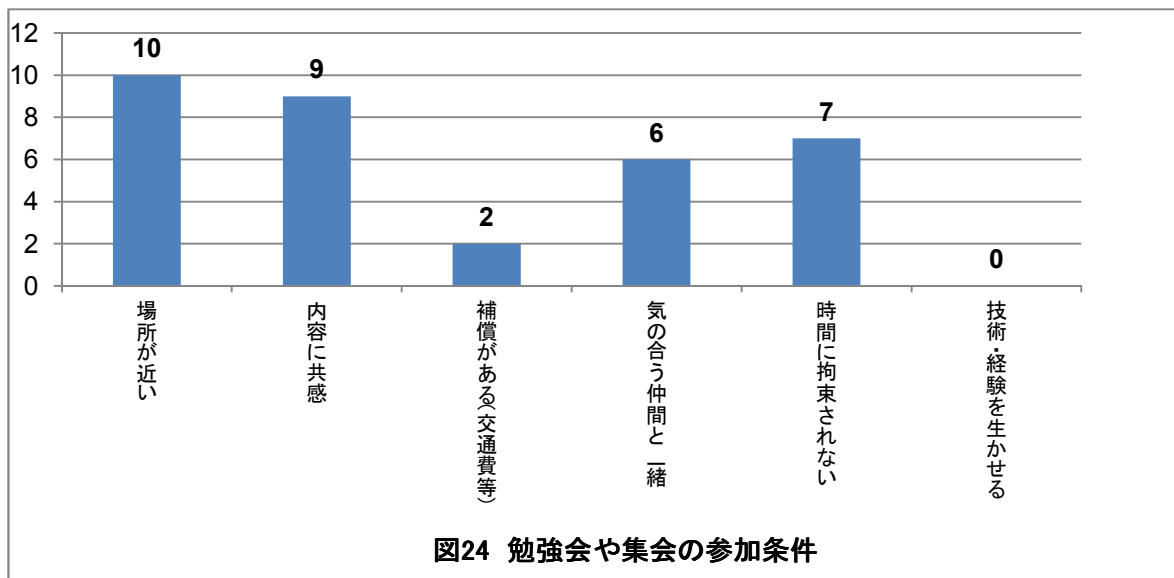
### 5-1. 参加意思

参加意思は図 23 のようになり、57.5%の方が参加の意思があると回答した。「興味はあるが参加しない」を加えると70%の方が関心を持っていると考えられる。



### 5-2. 参加条件

参加条件は図 24 のようになり、内容に共感できるという項目(22.5%)と共に、「開催場所が近い(25%)」「時間に拘束されない(17.5%)」など参加のしやすさが重視されていると考えられる。



### Ⅲ. 自由記述集

得られた記述回答を設問ごとにまとめた。

#### 問 2 - 1. 活動状況—買い物

- ・生ものが食べたい
- ・肉、魚、卵が食べたい
- ・トイレットペーパーが買いたい
- ・日用品が買いたい

#### 問 2 - 3. 活動状況—交流・社会的つながり

- ・集まる場所が無い
- ・人がもっと増えれば

#### 問 5 - 1. 衣の満足度

- ・救援物資でたくさんもらえた
- ・普段着があるが、スーツ等が無い
- ・暑さ、寒さへの対応難しい
- ・家族に送ってもらっている
- ・欲を言えば欲しい
- ・あまり無いが我慢している

#### 問 5 - 2. 食の満足度

- ・避難所から仮設住宅に移り、各自で用意しなくてはならない
- ・知り合いや親戚から食料品を貰っている
- ・地震が起こる前の通常の食事に近づいてきた

#### 問 5 - 3. 住の満足度

- ・狭い
- ・暑い
- ・寒さが心配
- ・冬の除雪どうするか
- ・結露がひどい
- ・曇りが欲しい
- ・玄関の屋根が短い（雨が入る）
- ・住めるだけよい
- ・一人暮らしが寂しい
- ・十分な設備
- ・砂利道を舗装して欲しい（散歩したい、押し車を使えない）
- ・わがままばかり言えない
- ・欲は出せない

#### 問 6 - 4. まちづくりに向けた話し合い・住民組織への参加・協力

- ・行政や専門家に任せる
- ・話を聞くだけでも参加したい
- ・若い世代に任せたい
- ・参加して意見も言えたら言いたい
- ・みんなが発言できる場が欲しい
- ・今後も田老に住みたい
- ・現状報告が欲しい
- ・掲示板や防災無線欲しい